

# GSI Creos

Produce the Future

## 第94期 中間株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日  
【2023年度】



株式会社GSIクレオス

証券コード 8101

GSIクレオス IR情報

<https://www.gsi.co.jp/ja/ir.html>

詳しくは  
[ウェブサイトをご覧ください。](#)



## ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は2023年度中間期の営業を終了いたしましたので、ここに経営状況をご報告させていただきます。

当社グループは「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパスのもと、中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げる2つの挑戦「過去最高純利益の更新」「資本市場からの信任度の向上」に取り組んでおります。当中間期におきましては、インナー用機能糸・生地やアウトナー関連を中心に繊維事業が伸長し、ケミカル関連商材なども堅調に推移したことから、前年同期比で増収増益となり、第2四半期純利益としましては過去最高益を計上いたしました。

地政学的リスクの高まりや世界経済の減速懸念等、先行き不透明感が増していますが、下半期におきましても収益のさらなる拡大を通じ、引き続き企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
社長執行役員

吉永直明



# 2023年度 中間期業績のご報告

## 売上高

2022年度（中間期）

60,508百万円

2023年度（中間期）

70,850百万円 ↗

## 営業利益

2022年度（中間期）

1,123百万円

2023年度（中間期）

1,722百万円 ↗

## 経常利益

2022年度（中間期）

1,281百万円

2023年度（中間期）

1,802百万円 ↗

## 親会社株主に帰属する 中間純利益

2022年度（中間期）

909百万円

2023年度（中間期）

1,297百万円 ↗

## 2023年度通期見通し

### 売上高

137,000百万円

### 営業利益

2,800百万円

### 経常利益

2,800百万円

### 親会社株主に帰属する当期純利益

1,950百万円

## 事業別業績



### 繊維事業

個人消費の回復によりインナー用機能糸・生地が取引が順調に推移したほか、アパレル製品のOEM・ODM取引や欧米向け生地の輸出取引が堅調な需要を背景に増加しました。また、インナー製品においても原材料価格の高騰や為替変動への対応が進んだことなどから、事業全体では前年同期比で増収増益となりました。

売上高

2022年度（中間期）

44,357百万円

2023年度（中間期）

53,586百万円 ↗

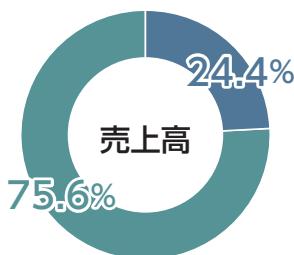
営業利益

2022年度（中間期）

328百万円

2023年度（中間期）

1,015百万円 ↗



### 工業製品事業

ケミカル関連では機能性樹脂・フィルムや塗料原料の取引が国内外で伸長し、ホビー関連資材も海外向けの需要回復により堅調に推移したものの、米国の対中国半導体輸出規制の影響によりセミコンダクター関連の取引が減速、化粧品原料も低調に推移したことなどから、事業全体では前年同期比で増収減益となりました。

売上高

2022年度（中間期）

16,150百万円

2023年度（中間期）

17,263百万円 ↗

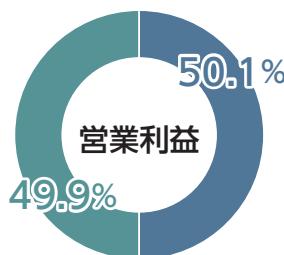
営業利益

2022年度（中間期）

1,090百万円

2023年度（中間期）

1,018百万円 ↘



(注) 2023年度中間期の営業利益1,722百万円は、上記の事業別営業利益およびセグメント間取引消去・全社費用（△311百万円）の合計となります。

# セグメント別業績

## 繊維事業

### ファイバー

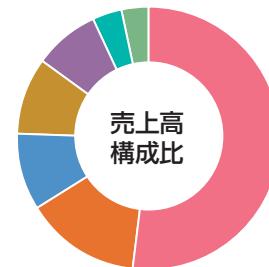
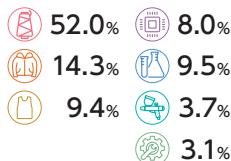
売上高 **36,850**百万円 ↑ 営業利益 **262**百万円 ↑

(前年同期比+6,463百万円)

(前年同期比+212百万円)

**増益** インナー用機能糸・生地

売上高 **70,850**百万円



売上高  
構成比

### アウター

売上高 **10,100**百万円 ↑ 営業利益 **495**百万円 ↑

(前年同期比+2,002百万円)

(前年同期比+78百万円)

**増益** アパレル製品 (OEM・ODM)、欧米向け生地

### インナー

売上高 **6,636**百万円 ↑ 営業利益 **257**百万円 ↑

(前年同期比+762百万円)

(前年同期比+396百万円)

**増益** インナー製品 (OEM・ODM)

## 工業製品事業

### セミコンダクター

売上高 **5,696**百万円 ↑ 営業利益 **309**百万円 ↓

(前年同期比+311百万円)

(前年同期比△180百万円)

**減益** 半導体関連部材 (中国向け)

### ホビー&ライフ

売上高 **2,604**百万円 ↑ 営業利益 **282**百万円 ↓

(前年同期比+138百万円)

(前年同期比△5百万円)

**減益** 化粧品原料

### ケミカル

売上高 **6,731**百万円 ↑ 営業利益 **364**百万円 ↑

(前年同期比+755百万円)

(前年同期比+56百万円)

**増益** 機能性樹脂・フィルム、塗料原料

### マシナリー&イクイップメント

売上高 **2,231**百万円 ↓ 営業利益 **62**百万円 ↑

(前年同期比△91百万円)

(前年同期比+56百万円)

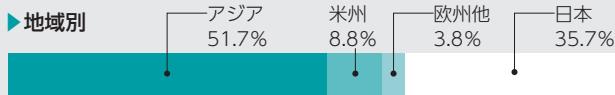
**増益** 大型機械装置、関連技術サービス

(注) 2023年度中間期の営業利益1,722百万円は、上記のセグメント別営業利益およびセグメント間取引消去・全社費用 (△311百万円) の合計となります。

## 海外売上高比率

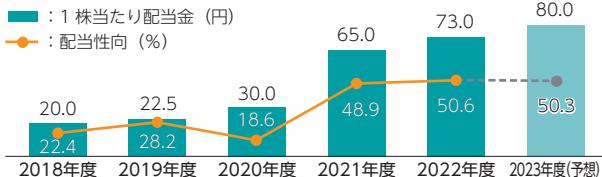
**64.3%**

前年同期比  
+2.5pt



## ■ 配当情報 (2023年9月30日現在)

### 1株当たり配当金(期末)および配当性向の推移



※当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金(期末)につきまは、2018年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した金額であります。

## ■ 会社概要 (2023年9月30日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都港区芝三丁目8番2号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	647名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外 23ヶ所	
連結子会社	国内 9社	海外 9社	
ウェブサイト	<a href="https://www.gsi.co.jp">https://www.gsi.co.jp</a>		

## ■ 役員の状況 (2023年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役 社長執行役員	吉永 直明	社外取締役	服部 和徳
取締役 専務執行役員	中山 正輝	<監査等委員>	
取締役 常務執行役員	大西 文博	取締役 常勤監査等委員	荒木 靖司
取締役 常務執行役員	西村 裕樹	社外取締役 監査等委員	早野 貴文
取締役 執行役員	小野 国広	社外取締役 監査等委員	高橋 昌子

### 執行役員

執行役員	羽田 努	執行役員	佐藤 大助
執行役員	田村 雄一	執行役員	向 徹也
執行役員	浜野 公義	執行役員 (半導体関連事業専任)	中村 元弥
執行役員 (ナノテクノロジー事業専任)	柳澤 隆	執行役員	関谷 惣禎

## ■ 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	12,629,942株
株主数	28,851名

## 株主優待制度について

9月末日(基準日)現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様に、下記の株主優待品(QUOカード)を同封しております。

### 株主優待の内容

保有株式数	株式保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上 300株未満	1,000円分	2,000円分
300株以上	2,000円分	3,000円分

### オリジナルQUOカード



詳しくは  
ウェブサイトを  
ご覧ください。

## ■ 株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
単元株式数	100株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 当社ウェブサイトに掲載いたします。 公告掲載アドレス <a href="https://www.gsi.co.jp/ja/ir/notice.html">https://www.gsi.co.jp/ja/ir/notice.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

